

# 一年団通信

第2号  
平成25年5月1日  
津山高専1年団  
1年団通信編集部

考えよう  
「工学と自然共生」

今年度の1年団通信のテーマ「共生」について、担任と副担任が交代でそれぞれが情報提供することになりました。今回は、1980年代から使われるようになった「自然共生」というフレーズをテーマに考えてみたいと思います。これからの工学技術者をめざすみなさんには、「自然共生」を意識した工学を考え、そのセンスを磨くことが求められています。今、君たちにできることは何でしょうか。

「自然共生」、それは、近年、危惧されている環境問題に対し、それを解決し持続可能な社会に移行するためのキーワードとして使われています。18世紀の産業革命以後、私たち人類

は工業生産や経済活動を飛躍的に増大させてきました。その結果、特に先進国に属している私たちの暮らしは一見してとても豊かなものになっていきます。しかし、その一方で、地球環境に深刻な問題を起こしつつあるという警告もあります。地球温暖化、大気汚染、森林破壊、砂漠化、酸性雨、人口増加などの問題がそうです。1992年のブラジルのリオデジャネイロで開かれた国連地球サミット「リオ会議」において、「持続可能な開発」という考え方が示されました。昨年度の1年団通信10号にも書きましたが、

リオ会議において12歳の少女が6分間の人々の記憶に深く残る伝説のスピーチを行いました。それは「地球のためにもう浪費を止め自然環境を守りませんか」というメッセージでした。

「風の谷のナウシカ」という宮崎駿監督のジブリ作

品をご存じでしょうか。この映画は、「火の7日間」と呼ばれる最終戦争によって巨大産業文明が滅びてから1000年余りが過ぎた未来の地球が描かれています。陸地の大部分は有毒な瘴気（しょうき）を発する菌類の森「腐海」に覆われており、腐海の中で人間は生きることができません。しかし、腐海でもオーム、ウシ

アブ、大王ヤンマ、ヘビゲラといった虫たち、植物ではヒソクサリ、ムシヤゴなどが生きています。地下室でのナウシカとユバの会話が印象的です。「私が胞子を集めて育てたんです。大丈夫、瘴気はだしません。」

「何故だ。猛毒のヒソクサリが花をつけておるのに」

「この水は、城の大風車

で地下500メートルから上げて

いる水です。砂は、同じ井戸の底から集めました。綺麗な水と土では、腐海の木々も毒を出さないと分かった。汚れているのは土なんです。この谷の土ですら、汚れているんです。なぜ？誰が世界をこんな風にしてしまったのでしょうか？」

私は上にあげたナウシカとユバの会話にヒントがあると考えます。それは物理、化学、生物、数学といった「自然科学」を「じつくり学び」そして「自らも考える」ことだと思うのです。自然科学で学ぶ知識は一般生活にはあまり関係のないものが多く、難しくてわからないという声を聞くこともあります。しかし、自然科学を学ぶことは、役に立つとか立たないとかではなくて、自然の中で起こっている不思議を、少しずつでもいいから純粹に理解しようということなのです。そのためには素直さが必要で、素直な気持ちで自然現象に心の目を向け、自然の立場になって考えることが大切です。そうすると自然の力に感動を覚えます。自然のしくみが少しは見えてきます。将来を担う君たちが、



自然に逆らわない、環境に負荷を与えない新しい工学のために、今君たちにできること、それはこの5年間に、自然科学的な考え方を基礎に、素直に学び、じっくり考え、感動し、そして友達と共に語り合い、いろいろな知識を身につけていくことである、そう考えます。

（1年2組副担任、基礎数学I担当、松田修）

## 6月の予定

- 6日(木)～12日(水) 中間試験
- 18日(火) 寮生救急処置実技講習会
- 19日(水) 校外教育
- 20日(木) 北辰寮防火避難訓練

## 《第一号でのお詫び》

平成25年4月9日発行の通信に誤った記載がありました。

## 5月の予定

- (誤)26日(金) 授業参観日
  - (正)24日(金) 授業参観日
- 訂正しお詫び申し上げます。

## 5月の予定

- 3日(金) 憲法記念日
- 4日(土) みどりの日
- 5日(日) こどもの日
- 6日(月) 振替休日
- 7日(火) 月曜授業
- 11(土)～12日(日) 美作総体
- 14日(火) 学生総会
- 18日(土) 暁祭(寮祭)
- 北辰寮後援会・寮生会・寮務委員会の懇談会
- 22日(水) 春季スポーツ大会
- 24日(金) 授業参観日
- 29日(水) スポーツ大会予備日

「一年団通信」は津山高専の1年生のホームページにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。